

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (1/6)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	高 石 浩 一
学歴	昭和57年 3月 京都大学教育学部教育心理学科 卒業 昭和60年 3月 京都大学大学院教育学研究科(修士課程)教育方法学専攻 修了 昭和63年 3月 京都大学大学院教育学研究科(博士課程)教育方法学専攻 単位取得満期退学				
学位	昭和60年 3月 教育学修士(京都大学)				
専門分野	臨床心理学				
専門資格	臨床心理士(562号)				
所属学会	昭和58年 5月 日本教育心理学会 昭和58年 9月 日本芸術療法学会 昭和60年 4月 日本心理臨床学会 昭和62年 5月 日本精神分析学会 昭和63年 4月 日本心理学会 平成 3年 4月 日本学生相談学会 平成 9年10月 日本病跡学会 平成12年 4月 日本箱庭療法学会 平成14年 5月 多文化間精神医学会 平成25年 2月 GID学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 臨床心理学基礎演習、臨床心理学演習、臨床心理学研究法演習Ⅰ、臨床心理学総合演習Ⅰ、 臨床心理学実践演習(グループアプローチ1)、心理療法学、臨床コミュニケーション論 大学院 学校臨床心理学特論、遊戯療法特論、心理療法特演Ⅰ-B、Ⅱ-B、臨床心理応用研究A				
論文指導	論文指導担当[主査](卒論:15名、修士論文:2名) 論文審査担当[副査](卒論:10名、修士論文:3名)				
教育実績 (FD活動)					
その他の 教育実践 活動実績	大学院生たちのキャリア教育の一環として、医療、発達、福祉領域で用いられる心理検査を体験的に学ぶ「アセスメント研究会」をM1(25名程度)、M2(15名程度)別に開催した。				
H25年度 研究課題	学部・大学院(博士前期課程・博士後期課程)共通 1. プレイセラピーの研究 2. スクールカウンセラーのキャリア教育 3. セクシュアル・マイノリティの心理臨床 4. ロボットと人間				
平成 二十五 (2013) 年度 の 研究 活動 の 概要	1. については論文「ケースの引継ぎについての覚書」に続いて、「終結に関する覚書」を執筆、次号『心理臨床センター紀要』に掲載予定。また、遊戯療法学会第19回大会において、シンポジストとして今年度大学院新規科目としての「遊戯療法特論」における取り組みを発表した 後述:(学会報告、学会活動)1。 2. については昨年に引き続き、元カリフォルニアSC(School Counselor)学会長Darryl先生を学校臨床心理学特論のゲストスピーカーとしてお招きし、アメリカのSCのキャリア教育の実態をご報告頂いた。 3. については学部授業などで使用しているGID関連書籍の翻訳を完了し、現在出版に向けて準備中である。 4. については、人間学研究所の事業として、来年度シンポジウム開催を企画中であり、それに向けての準備を行っている。				

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/6)

<p>平成二十五(2013)年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>1. 学会企画シンポジウム「『遊戯療法家を育てる』 教育と訓練をめぐって 「遊戯療法の講義・実習の工夫」(シンポジスト)、平成25年6月、日本遊戯療法学会第19回大会、京都文教大学</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>学生相談室運営委員会委員、人間学研究所所員</p>
<p>平成二十五 (2013)年度 の社会に おける活動</p>	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>・ 「一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会あしたね」顧問「平21.8より」</p>
<p>平成二十一～二十四(2008～2012)年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>1. 「生活綴方と心理臨床」、共著、平成21年2月、日本図書センター、編者：西川祐子・杉本星子、『共同研究 戦後の生活記録に学ぶ 鶴見和子文庫との対話・未来への通信』(pp.261-276)</p> <p>2. 「第3章 高校・大学の学校臨床」「第8章 諸外国の学校臨床」「第11章 学校を越えて」「第12章 学校臨床のアセスメント」、共編著、平成21年3月、放送大学教育振興会、共編者：滝口俊子、学校臨床心理学特論 09 (pp.31-42, 113-124, 159-170, 171-182)</p> <p>3. 「児童養護施設における、いわゆる反応性愛着障がい児の「扱いにくさ」について」、共著、平成21年3月、創元社、伊藤良子・角野善宏・大山泰宏編、京大心理臨床シリーズ7 「発達障害」と心理臨床 (pp.241-250)</p> <p>4. 「身体感覚を通して顕わになる転移」、共著、平成21年9月、創元社、伊藤良子・大山泰宏・角野善宏編、京大心理臨床シリーズ9 心理臨床関係における身体 (pp.41-48)</p> <p>5. 「第2章 知能・発達検査の倫理」「第7章 聞き取り検査」、共著、平成23年3月、培風館、共編者：川畑隆・大島剛、『心理学実習 応用編 1 知能・発達検査実習 新版K式を中心に』(pp.8-15, 89-96)</p> <p>6. 「第16章 専門家の壁!？」、共著、平成23年5月、日本評論社、飯森真喜雄・宮川香織編、『カウンセリングと心理療法 その微妙な関係』(pp.154-163)</p> <p>7. 「ケータイ・ネット時代の臨床心理学 改め河合隼雄が本当に言いたかったこと」、共著、平成23年8月、創元社、四天王寺監修、『四天王寺カウンセリング講座10』(pp.77-104)</p> <p>8. 「第13章 学生相談」、共著、平成24年8月、創元社、村山正治・滝口俊子編著、『現場で役立つスクールカウンセリングの実際』(pp.217-233)</p> <p>(論文)</p> <p>1. 「臨床心理士の就活論 この業界で生き延びていくために」、単著、平成21年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第11号 (pp.49-56)</p> <p>2. 「パーソナリティ障害への支援 学生相談場面において」、単著、金剛出版、平成21年7月、臨床心理学第9巻4号 (pp.505-511)</p> <p>3. 「ユングアンの考え方を学校に生かす」、単著、遠見書房、平成21年8月、子どもの心と学校臨床第1号 (pp.69-77)</p> <p>4. 「大学生と発達障害」、単著、日本評論社、平成21年10月、そだちの科学通巻13号 (pp.106-110)</p> <p>5. 「母親面接をめぐる覚え書き」、単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.13-23)</p> <p>6. 「プレイセラピーの治療的展開に関する覚え書き」、単著、平成23年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第3集 (pp.3-15)</p>

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/6)

平成二十二年(2008)～二十四(2012)年度の主な研究成果等

(論文 つづき)

7. 「インターク・カンファレンスに関する覚え書き」, 単著、平成23年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第13号 (pp.17-30)
8. 「河合隼雄と鶴見和子 1992年から1994年の関わり」, 単著、平成23年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.11 (pp.71-95)
9. 「サンフランシスコにおけるキャリア教育と心理臨床活動」, 共著、平成24年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第14号 (pp.33-42)
10. 「二つのマンダラ論 河合隼雄と鶴見和子の出会いを通して」, 単著、平成24年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.12 (pp.1-18)
11. 「カリフォルニアにおけるLGBTQ教育、キャリア教育の実態」(報告), 共著、平成25年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第5集 (pp.103-112)
12. 「ケースの引継ぎについての覚書」, 単著、平成25年 3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第15号 (pp.39-49)

(学会報告、学会活動)

1. 「罪のカウンセリング」, 共同、平成20年4月、司会・コメンテーター・共同司会：森岡正芳(神戸大学)、日本語臨床研究会第15回、京都府立医大
2. 「難病相談支援センターアンケート結果報告」, 共同、平成21年1月、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援態勢の確立に関する研究」平成20年度研究報告会、都市センターホテル
3. 「難病相談支援センターアンケート報告 Q&A集作成に向けて」, 共同、平成22年1月、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援態勢の確立に関する研究」平成21年度研究報告会、都市センターホテル
4. 「ボランティアが特定疾患患者と初めて出会う時 心的変化と支援者支援」, 共同、平成23年1月、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援態勢の確立に関する研究」平成22年度研究報告会、連名発表者：風呂井たみ、京都文教大学
5. 「同性愛の心理臨床について考える その9」(指定討論)、平成23年9月、日本心理臨床学会第30回大会、九州大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

エッセイ：

1. 「誌上カンファレンス 樹木画データの読み込みから」, 共著、平成20年4月、明石書店、『そだちと臨床』第4号 (pp.40-49 A4判)
2. 「第15回 日本語臨床研究会見てあるき」, 単著、平成20年6月、「日本語臨床研究会通信」第18号、第15回研究会印象記 (pp.1-2 B5判)
3. 「長編フェチ」, 単著、平成20年8月、毎日新聞社、「本の時間」第3巻9号 (pp.78-79 B5判)
4. 「河合隼雄未来を語る 院生たちとの対話」, 単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.7-8)
5. 「河合隼雄を語る 日本文化と心理臨床における貢献」, 単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.9-10)
6. 「河合隼雄・鶴見和子と京都文教 その宗教性をめぐって」, 単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.10-11)
7. 「空気を読む時代の共感を考える」, 単著、平成22年6月、金子書房、児童心理第916号 (pp.24-30)
8. 「クラスを「居場所」と思えない子どもたち」, 単著、平成23年8月、金子書房、児童心理第935号 (pp.30-35)
9. 「私の伏流水」, 単著、平成23年4月、培風館、大学用図書目録20 (p.1)
10. 「裏表のある子の心理」, 単著、平成24年4月、金子書房、『児童心理』第947号 (pp.11-18)
11. 「風が吹くとき」, 「岸辺のふたり」, 単著、平成24年8月、福村出版、『子育て支援と心理臨床』増刊第1号 (p.104, 105)
12. 「相手の反感を買いたくない」, 単著、平成24年12月、金子書房、『児童心理』第959号 (pp.11-18)

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (4/6)

平成二十二年四月(2008~2012)年度の主な研究成果等

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)

コメント:

1. 「中野論文へのコメント」、単著、平成21年2月、天理大学カウンセリングルーム紀要第5号 (pp.217-220)

視聴覚教材:

1. 「第3回 学校臨床心理学の实践~高校・大学の場合(45分)」, 共演、平成21年3月、共演者:香川克他、放送大学教育振興会、放送大学用ビデオ教材 学校臨床心理学特論 09
2. 「第8回 諸外国の学校臨床(45分)」, 共演、平成21年3月、共演者:ダリルヤギ他、放送大学教育振興会、放送大学用ビデオ教材 学校臨床心理学特論 09
3. 「第10回 保護者への対応(45分)」, 共演、平成21年3月、共演者:小野田正利、放送大学教育振興会、放送大学用ビデオ教材 学校臨床心理学特論 09
4. 「第11回 学校を越えて(45分)」, 共演、平成21年3月、放送大学教育振興会、放送大学用ビデオ教材 学校臨床心理学特論 09
5. 「第12回 学校臨床のアセスメント(45分)」, 共演、平成21年3月、放送大学教育振興会、放送大学用ビデオ教材 学校臨床心理学特論 09
6. 「児童生徒理解 ~思春期の子ども的心とネット社会~(55分)」, 単独、平成21年10月、三重県教育委員会、三重県総合教育センターネットDE研修教材(55分)

学術講演:

1. 「事例検討」(助言者)、平成20年6月、近畿学生相談研究会第132回例会第3部会、京都女子大学
2. 「これからの学生支援 ~京都文教大学の今とこれから」(司会)、平成20年12月、京都文教大学生相談室10周年企画シンポジウム、京都文教大学
3. 「対応の難しい学生の悩みにいかに対処するか ネット時代の傾向と対策」(講師)、平成21年1月、徳島大学薬学部FD研修会、徳島大学薬学部
4. 「京都文教大学のSV」(シンポジスト)、平成21年9月、日本臨床心理士養成大学院協議会第9回大会、ホテルメトロポリタンエドモンド
5. 「発達障害学生への支援について」(講師)、平成21年11月、障害のある学生支援に関する担当者会議、キャンパスプラザ京都
6. 「学生相談の実際 ネット対応をめぐる」, 単独、平成22年6月、近畿学生相談研究会第136回例会第2部会、京都府立大学
7. 「河合隼雄と鶴見和子 曼荼羅とマンガラ」(研究会講師)、平成23年2月、京都文教大学人間学研究所主催、京都文教大学
8. 「若者をとりまく社会問題() マンガなどのサブカルチャーから探る若者心理」(講師)、単独、平成23年11月、第49回全国学生相談研修会、東京国際フォーラム

報告:

1. 「攻殻機動隊をめぐる冒険」、単著、平成25年3月、共同研究プロジェクト「ロボット・人間学研究 情報工学と人間学の接点を探る」研究会報告、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.13 (pp.41-46)

(調査活動)

平成23年 8月 キャリア教育と心理臨床活動の調査(於:サンフランシスコ)

平成24年 9月 LGBTとキャリア教育の調査(於:サンフランシスコ)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

平成20年度-平成22年度

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (5/6)

<p>平成二十一～二十四(2008～2012)年度の 主な研究成果等</p>	<p>(学内活動)</p> <p>平成14年 4月 大学運営会議委員「平25.3まで」 大学予算委員会委員「平21.3まで」 学生相談室運営委員会委員「現在に至る」</p> <p>平成15年 4月 自己点検・評価委員会委員「平25.3まで」</p> <p>平成17年 4月 学生相談室長「平25.7まで」 就職委員会委員「平21.3まで」</p> <p>平成18年 4月 人間学研究所所員「現在に至る」</p> <p>平成20年 4月 インターンシップ単位認定委員会委員「平21.3まで」</p> <p>平成21年 4月 大学教学会議委員「平22.3まで」 自己点検・大学院委員会委員「平22.3まで」 危機管理委員会委員「平22.3まで」</p>
<p>平成二十一～二十四(2008～2012)年度の 社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成16年 4月 神戸市スクールカウンセラー「平22.3まで」</p> <p>平成22年11月 平成22年度教員免許状更新講習「メディア環境の下での生徒指導と教育相談」 於：京都文教大学</p> <p>平成23年 7月 平成23年度教員免許状更新講習「メディア環境の下での生徒指導と教育相談」 於：京都文教大学</p> <p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成21年 8月 「一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会あしたね」顧問「現在に至る」</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成20年 5月 京都私立幼稚園連盟城南地区研究会「発達障害と親への対応」於：芽生え幼稚園</p> <p>平成20年 6月 1. 京都府立北嵯峨高校主催教職員人権研修会「インターネット社会と高校生」 於：京都府立北嵯峨高校 2. チャイルドライン神戸2008年受け手養成講座「ケータイ・ネットと子どもたちの世界」於：こうべ市民福祉交流センター</p> <p>平成20年 7月 宇治市教育委員会事例研究セミナー「学校裏サイト等をめぐる問題に関して…」 於：宇治市生涯教育センター</p> <p>平成20年11月 1. 相楽地方PTA連絡協議会人権講演会「ネット時代の子どもたち」於：木津市立山城中学校 2. 宇城久学校保健会保健主事・養護教諭研修会「子どもの心の居場所」於：宇治市生涯教育センター</p> <p>平成20年12月 1. 第46回全国学生相談研修プログラム「若者を取りまく社会問題(XI) ネットの傾向と対策」於：東京国際フォーラム 2. 奈良大学学生相談研修会「学生相談の昨今の話題 ネットの傾向と対策」 於：奈良大学 3. 神戸市立神戸工科高等学校人権研修会「高校における発達障害と特別支援」 於：神戸市立神戸工科高等学校</p> <p>平成21年 2月 大阪府立学校人権教育第5回オープンセミナー「ケータイから離れない子どもたち」 於：大阪市立浪速人権文化センター</p> <p>平成21年 9月 富士通メンタルヘルスセミナー「うつ病への対策と予防」於：富士通関西システムラボラトリ</p> <p>平成21年11月 平成21年度三児童相談所合同心理判定員レベルアップ研修会「パーソナリティ障害について」於：京都市児童相談所</p> <p>平成21年12月 神戸市立神戸工科高等学校人権研修会「気になる生徒の支援について」於：神戸市立神戸工科高等学校</p>

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (6/6)

平成二十二年(2008)～平成二十四(2012)年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

- 平成22年 6月 1. 第45回四天王寺カウンセリング研修講座「ケータイ・ネット時代の臨床心理学 河合隼雄が本当に言いたかったこと」、於：四天王寺学園講堂和光館
 2. 第14回上宮中学校・高等学校保護者・教職員のための勉強会「メディアの中に生きる子どもたち」、於：上宮高等学校講堂
- 平成22年 7月 こども相談センターパトナ研修会「ケータイ、ネット時代の子どもの心の理解と対応」、於：京都市教育相談総合センター
- 平成22年10月 平成22年度教育課題別研修講座 教育相談 「『現代の子どもたち』 ネット社会を通して考える」、於：吹田市立教育センター
- 平成23年 2月 1. 兵庫県立工科高校人権研修・特別支援教育合同研修「読字障害を持つ生徒への支援」、於：神戸市立工科高等学校
- 平成23年 2月 2. 宇治市子ども若者支援地域協議会体制準備モデル事業第5回定例会議・YA養成講習会「不登校・引きこもりのできるわけ その後の事情」、於：宇治市青少年指導センター
- 平成23年 6月 パトナ研修会「携帯・情報と心の間 なぜ若者は依存するのか」、於：京都市教育センターパトナ
- 平成23年 7月 日野町子育て・教育相談センター・竜王町ふれあい相談発達支援センター主催：心理臨床家のための自主研修会「うつ病の治療ポイント 心理療法と薬とネグレクト」、於：日野町公民館
- 平成23年 8月 成安造形大学FD研修「多様化する学生への支援について」、於：成安造形大学
- 平成23年11月 同志社国際中学・高校保護者会「メディア環境の下での家庭教育」、於：同志社女子大学チャペル
- 平成24年 6月 1. 児童養護施設「京都大和の家」職員研修、「反応性愛着障害について」
 2. 兵庫県私学連合会 学校カウンセリング研究会 カウンセリング研修会講師、「ケータイ・ネット時代のカウンセリング」
- 平成25年 3月 一般社団法人子ども・青少年育成支援協会 あすはな勉強会講師、「発達障害について 発達障害概念の時代的変遷と生涯発達の視点から見た発達障害」、於：福島区民センター(大阪)

(その他)

- 平成20年 5月 京都文教大学人間学研究所 耳学問填島亭第1回「イントロダクション 所長・ウカイ、自らを語る」(司会)、於：京都文教大学最勝殿
- 平成21年 3月 宇治女性の会・宇治市男女共同参画支援センター共催女性の生き方支援セミナー「私が私らしく生きるために!」、於：ゆめりあうじ
- 平成21年 7月 1. 思春期講座「ネット・ケータイ社会での人間関係の築き方」、於：宇治市生涯学習センター
 2. 男女共同参画基礎講座「母を支えた娘たち 娘たちの行方」、於：ゆめりあうじ
- 平成22年11月 香川県立三木高等学校情報モラル教育「インターネット時代の臨床心理学」、於：香川県立三木高等学校講堂
- 平成24年 5月 立教大学全学共通カリキュラム「社会人への階段」講師、「インターネットに潜む危険」